

平成 29 年 10 月 23 日

市長記者会見資料

仙山連携事業仙山線 80 周年記念事業イベントの開催について

1. 目的

平成 29 年 11 月 10 日に仙山線全線開通 80 周年迎え、J R 東日本では平成 29 年 11 月 11 日に臨時列車仙山線全線開通 80 周年記念「食べっしゃ」を走らせる企画を予定しており、これを機に仙山線の魅力を国内外に発信し、観光誘客につなげるため、山形市、仙台市が連携し、J R 東日本が企画する臨時列車に合わせ、山形駅・山寺駅・作並駅・仙台駅でおもてなしの実施、仙山線沿線ガイドマップの作成・配布を行います。

2. 記念列車概要

(1) 運行日：平成 29 年 11 月 11 日（土）

(2) 運行列車

・仙山線全線開通 80 周年記念「食べっしゃ」、6 両編成、定員 130 名

3. 各駅でのおもてなし概要

実施日：平成 29 年 11 月 11 日（土）

(1) 山形駅（14：30～14：45）※臨時列車復路の出発（14:40）にあわせて

・場所 J R 山形駅 在来線 5 番ホーム

・内容 山形花笠踊り披露など

(2) 山寺駅（11：27～11：44）※臨時列車の停車時間

・場所 J R 山寺駅前

・内容 山形芋煮振舞、山形花笠踊り披露など

※雨天時、山形花笠踊り披露は中止となります。

(3) 仙台駅（9：30～10：00）※臨時列車往路の出発（9:54）にあわせて

・場所 J R 仙台駅 在来線 2 番ホーム

・内容 伊達武将隊によるアトラクションなど

(4) 作並駅（10：38～11：02）※臨時列車の停車時間

・場所 J R 作並駅 在来線 3 番ホーム

・内容 仙台すずめ踊りによるお出迎え（伊達の舞）・仙台芋煮振舞いなど

4. 仙山線沿線ガイドマップ作成

(1) 内容 観光施設、飲食店など仙山線沿線の観光の魅力を紹介。

(2) 配布 11 月上旬より山形市及び仙台市内の観光案内所等において、日本語版英語版作成し、配布予定。

問い合わせ先

商工観光部観光物産課観光地整備グループ

TEL023-641-1212 内426

平成29年度山形市ふるさと納税推進事業における今後の取り組みについて

1 ふるさと納税「御礼の品リニューアル」について

平成29年4月1日に発出された総務大臣通知により、返礼品のあり方について、返礼割合を3割以下にすること等の対応を求められたことから、11月1日から当該通知への対応とともに新たな御礼の品を加えた「御礼の品リニューアル」を実施します。

(1) 通知に対応した変更内容

ア 返礼品の返礼割合を3割以下にするため、既存返礼品の寄附受入金額を引き上げます。

【例】寄附金額10,000円に対し、5割相当(5,000円)の返礼品を送っていた場合
返礼割合を3割以下に引き下げるためには、

5,000円相当の返礼品に対し、寄附金額は、16,666円 \approx 17,000円となります。

\therefore 5,000円相当の返礼：(現行)10,000円寄附 \Rightarrow (変更後)17,000円寄附

※ 返礼品によって寄附金額の引き上げ幅が異なります。

イ 総務省より指摘を受けた、資産性の高い家具や伝統工芸品、高額な返礼品などの取り扱いを10月31日で終了します。

【終了する返礼品】

- 資産性の高いもの 「山形カフェテーブル」や「屏風」など
- 高額なもの 「山形牛月替わり食べつくしセット」や砂鉄瓶「平丸菊」など

(2) 新たな返礼品の追加

新たな返礼割合(3割以下)による御礼の品を充実させるため、10,000円以上の御礼の品を中心に新たな返礼品を追加します。

- ・新規追加返礼品 98品
- ・既存返礼品 367品

合計 465品(リニューアル後の返礼品数)

【肉】「A5-A4 特選山形牛バラ・モモ肉切り落とし」「蔵王樹氷三元豚 味噌漬け」など

【米】「つや姫・太古自然米はえぬきセット」「つや姫5kg【餅のおまけつき】」など

【果物】「ラ・フランス」「ふじりんご」など

【酒】「男山 出羽燦々セット」「秀鳳 3種梅酒セット」など

【その他】「山形ゆきちからうどんセット」「山形の漬物「特選詰め合わせ」」「山形秘伝の味こんにゃくそば詰合せ」「山形名物玉こんにゃくとくるみどうふセット」 など



(3) 変更時期

平成29年11月1日(水) 寄附受付分から

2 「フルーツ先行予約（平成30年産）」について

昨年度も好評であった「フルーツ先行予約」を実施します。

山形市の特産品を代表するフルーツの「山形ブランドの確立」を推進し、更なる寄附金額の増加を図ることを目的とします。

(1) 先行予約期間

平成29年11月10日（金）から平成30年3月31日（土）まで

(2) 協力提供事業者（順不同） 11事業者

山形農業協同組合、株式会社丸勘山形青果市場、株式会社マルセン醤油、株式会社ベジフル山形、有限会社山寺観光果樹園、ヤマイチ青果株式会社、佐竹物産株式会社、株式会社スプリングス、株式会社鬼嶋庄一郎商店、株式会社アスク、ふる里サクランボ園大曾根

(3) 先行予約商品及び提供数等（平成30年産 提供総数 100,550件※随時追加）

品目	寄附金設定額	提供数
さくらんぼ（佐藤錦又は紅秀峰）	10,000円～ 50,000円	75,880箱
ぶどう（シャインマスカット・キングデラなど）	10,000円～ 20,000円	8,090箱
もも（川中島・あかつきなど）	10,000円～ 15,000円	6,700箱
フルーツセット （『定期便』フルーツセット（計4回）ぶどう3種・5種セット・ 大粒系ぶどうのセット・白桃と黄金桃のセット）	10,000円～ 100,000円	9,830箱
サクランボの木のオーナー権（新規）	90,000円	50本
	提供総数	100,550件

問い合わせ先

商工観光部山形ブランド推進課

ふるさと納税グループ

TEL023-641-1212 内407

「平成29年度（第54回）三浦記念賞」受賞者の決定について

1. 受賞者（1個人1団体）

	受賞者	役職	功績など
個人	おくやま きよゆき 奥山 清行	株式会社 KEN OKUYAMA DESIGN 代表取締役	長い間海外で活躍され、日本を拠点に移した今も国際的な活躍で培われた独自の視点や自動車をはじめとした様々な工業デザインを手がけられています。 また、デザインと職人技術を生かした新しいモノづくりの方式の構築に努めるとともに、山形県の優れたものづくりとその背景にある歴史や文化を全国・世界にアピールし、県内地場産業の活性化に寄与しております。
団体	かみまかいや 株式会社ホシカワ	—	屋根工事から内外装工事、防水、パネル工事と幅広い事業を展開。「山形市総合スポーツセンター」や「山形県生涯学習センター遊学館」など多数の市内外の施設の工事を手がけ、営業エリアを拡大しながら、業績の発展を実現しております。 また、現場での設備の大型化が進むなか、安全面の配慮を第一義として掲げるとともに、東北一円に加え北関東での受注に力を入れ、特に東京五輪を見据えた事業展開として、首都圏でのインフラ整備に必要な物流倉庫の建設に向け、これまでの実績と高い技術、営業力を活かした参入を目指すなど、さらなる企業の繁栄を目指しております。

2. 表彰式

- (1) 日時 平成29年12月14日（木）午後5時から
- (2) 場所 パレスグランデール

3. 三浦記念賞とは

「三浦記念賞」は、公益財団法人三浦新七博士記念会が、山形市の産業経済の向上に功績があった個人又は団体に対して毎年授与しております。この賞は、昭和38年度に発足し、昨年度まで90個人、55団体が受賞しております。

4. 公益財団法人三浦新七博士記念会とは

公益財団法人三浦新七博士記念会（代表理事：佐藤孝弘）は、故三浦新七博士が生前、念願してやまなかつた山形市の産業経済の発展を図るため、産業経済の向上に功績があった個人又は団体に対する「三浦記念賞」の授与、商工業振興に関する調査研究、講演会の開催等の事業を行い、もって本市の産業経済の発展に寄与することを目的とし、昭和38年3月15日に設立されたものであります。

〔 三浦新七博士…法学博士で文明史家。両羽銀行（現山形銀行）頭取、東京商科大学長、日銀参与などを歴任し、山形市の産業経済の発展に寄与した。 〕

5. 選考基準

- (1) 発明、発見その他の開発研究により、本市産業経済の発展向上に顕著な功績を上げたものであること。
- (2) 商工業団体の育成強化に寄与し、又は商工業団体の活動を通して地域の振興に尽力し、その功績著明なものであること。
- (3) 商工業界の能率向上、合理化等に尽力し、著しく産業の発展に寄与したものであること。
- (4) 技術の向上、普及又は人材の育成に尽力し、商工業界の振興に貢献したものであること。
- (5) 異業種交流や新分野への進出を図り、新製品の開発、販路開拓に著しく功績のあるものであること

【問合せ先】

(公財) 三浦新七博士記念会事務局
(山形市商工観光部山形ブランド推進課内)
TEL 641-1212 (内線 413)

平成29年度(第44回)山形市伝統的工芸産業技術功労者褒賞受賞者の決定について

1. 褒賞の目的

伝統的工芸産業技術の保存及び後継者育成を図るため、長年にわたり伝統的工芸産業に従事し、技術・技法の伝承に尽くされ、業界振興に多大な貢献をなされてきた方々を褒賞するもの。

2. 選考基準

- ①技術技法の伝承と発展に寄与した者
- ②後継技術者の指導育成に努め、その功績が顕著な者
- ③経験年数満30年以上を有し、かつ年齢が満50歳に達した者
- ④社会の福祉、環境の整備その他公益事業等に貢献し、功績が顕著な者

3. 受賞者4名



こけし <small>こげやし きよし</small> 小林 清 【小林こけし】	山形鋳物 <small>さいとう としお</small> 西塔 敏雄 【株式会社雅山】	山家焼 <small>あいた けんたろう</small> 會田 健太郎 【山家焼 彌惣治窯】	山形仏壇 <small>たなか たかき</small> 田中 昂幸 【田中彫刻】
こけし11系統の1つ、山形系こけしの開祖の家系に生まれ、先代亡き後は、山形系こけしの職人として、その製作技術を今に伝え続けている。東北の若手・中堅のこけし工人の情報共有・技術向上を目的とした『美轆会(みろくかい)』を組織する際に参画しており、こけし業界への貢献度は高い。	同社の副工場長を務め、中心メンバーとして活躍している。学生時代に学んだデザイン知識を活かし、山形鋳物の製造に係る全ての工程をこなす技術と見識を持ち、伝統を継承している。山形鋳物の継承者として、今後益々の活躍が期待されている。	200年続く彌惣治窯(やそうじがま)の6代目として窯の火を守り続けている。紅花や蕎麦の灰を用いた釉薬を開発するなど、新たな技法の開発にも力を入れている。自身の陶芸教室も設けており、技術・知識を伝える等、陶芸界を盛り上げるために尽力している。	父の後を継ぎ、仏壇彫刻の道に進む。これまで数多くの仏壇彫刻を手がけている。仏壇彫刻以外にも、欄間や神輿の彫刻にも携わっており、東北六魂祭で使用した神輿の彫刻も手がけるなど、繊細な彫刻刀使いで、精密な模様を彫るその技術に定評がある。

4. 褒賞式

- (1) 日時 平成29年10月26日(木) 午後4時30分～
- (2) 会場 山形グランドホテル3階「白鳥」

【問合せ先】
山形市商工観光部山形ブランド推進課
TEL023-641-1212 内413

平成29年度（第46回）山形市技能功労者褒賞について

1 趣 旨

技能者の社会的、経済的地位向上を図り、技能尊重の気風を醸成するため、長く同一の職業に従事して技能の練磨及び技術の鍛錬並びに後進の育成指導にあたり、市民生活の向上並びに産業の振興に顕著な功績を収めている技能者に対して褒賞を行う。

2 褒 賞 式

(1) 日 時 平成29年11月6日（月）午後4時～

(2) 会 場 山形グランドホテル2階「サンリヴァ」

(3) 式典参加予定者

①受賞者 20名（別紙名簿のとおり）

②来 賓 県知事・市議会議長・山形商工会議所会頭・産業文教委員長及び産業文教委員

③選考員 12名

④受賞者の職種団体等の代表者 19名

(4) そ の 他

第46回受賞者の最少年齢は55歳、最高年齢は79歳。

褒賞状・記念品を贈呈

3 選 考

63の職種団体へ候補者の推薦依頼をし、19の職種団体から20名を選考した。

4 褒賞の開始年度

昭和47年度

5 受賞者総数

平成28年度までの受賞者総数 1, 217名

6 基 準

(1) 市内居住・市内で職業に従事している者

(2) 優れた技術を持ち、他の技術者の模範と認められる者

(3) 褒賞の行われる日現在において、技術者として経験年数30年以上を有し、満55歳以上の者

(4) 引き続きその職種に従事し指導的立場にある者

平成29年度（第46回）山形市技能功労者褒賞受賞者名簿

No	職 種	氏 名	ふ り が な	住 所 地
1	自 転 車	齋藤 幸夫	さいとう ゆきお	江 俣
2	日 本 料 理	山口 徳雄	やまぐち のりお	本 町
3	配 管	吉田 安伸	よしだ やすのぶ	陣 場
4	冷 凍 空 調	佐藤 進二	さとう しんじ	高 堂
5	理 容	菊池 政直	きくち まさなお	清 住 町
6	理 容	渋間 久子	しぶま ひさこ	長 町
7	電 気 工 事	鹿野 幸雄	しかの ゆきお	や よ い
8	仏 壇	大槻 信也	おおつき しんや	鳥 居 が 丘
9	表 具	宮澤 和則	みやざわ かずのり	船 町
10	広 告 美 術	中川 亮一	なかがわ りょういち	穂 積
11	石 工	石澤 光弘	いしざわ みつひろ	鉄 砲 町
12	木 材	金子 清美	かねこ きよみ	双 月 町
13	打 刃 物	白木 良	しろき りょう	宮 町
14	西 洋 料 理	田中 浩明	たなか ひろあき	三 日 町
15	左 官	原田 正一	はらだ しょういち	中 野
16	板 金	大沼 俊一	おおぬま しゅんいち	あ か ね ヶ 丘
17	塗 装	高橋 雄二	たかはし ゆうじ	中 桜 田
18	建 築	大泉 美智雄	おおいずみ みちお	長 谷 堂
19	麵 類	深瀬 長行	ふかせ ながゆき	五 十 鈴
20	造 園	齋藤 敦弘	さいとう あつひろ	青 田

平成29年10月23日

市長記者会見資料

山形市産農産物の関西圏での消費拡大PRについて

1. 開催日時 期日：平成29年11月11日（土）
時間：午前11時00分から11時30分
2. 開催場所 宝塚阪急百貨店
(兵庫県宝塚市栄町2丁目1-1)
3. 目的 これから出荷最盛期を迎える時期に合わせ、山形市農業協同組合と山形農業協同組合が実施する「セルリー」、「ラ・フランス」、「りんご」、「食用菊」、「おかひじき」等の宣伝活動に同行し、関西圏における消費拡大を促進する。
併せて、市場関係者との懇談を行い、市産青果物の取り扱いの拡大をお願いする。
4. 内容 (1) 試食提供・対面販売
セルリー、ラ・フランス、りんご、食用菊、おかひじき等

(2) 来場者プレゼント（100人）
果汁100% 山形代表 りんご・ラ・フランス各1本
5. 実施者 山形市長 佐藤 孝弘
山形市農業協同組合代表理事組合長 大山 敏弘
山形農業協同組合代表理事組合長 板垣 平治郎

問い合わせ先

農林部農政課

TEL023-641-1212 内431